



令和4年11月30日発行
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園

しもやけ

しもやけがしやすい子どもは、もともと皮膚の毛細血管の血液量を調整することがうまくいかない傾向があります。日頃から手足の冷たい子どもには、しもやけにならないように配慮が必要です。体質も関係しており、家族が冷えやすい場合は子どもがしもやけになりやすい傾向があります。皮膚がまだら状に赤くなり、かゆみを伴う症状が出てきたら早めに受診しましょう。皮膚科でも、子どもであれば小児科でも大丈夫です。

夢中になるほど、ドライアイ注意報！！



パソコンやスマートフォン、ゲーム機に夢中になり集中して遊んでいる時にドライアイ（目の乾き）になる危険性があります。子どもは大した異変だと気づかず、目がかゆいと強くかいてしまい、症状を悪化させてしまうことがあります。「目が充血している」「目をこする」といった変化を見つけたら、休憩するよう声をかけてあげてください。症状が重くなると視野がぼやけて見えにくさを感じたり、慢性的な頭痛や肩こり、全身がだるいなどといった症状を引き起こすこともあります。冬は空気が乾燥することで、涙が不足してしまい目が乾燥すると言われています。暖房の風邪が直接当たらないように注意し、加湿器で湿度を調整したり目薬で瞳を潤すのも効果的です。



12月の予定

5日（月）身体測定

7日（水）乳児検診



「MR」麻疹（はしか）・風疹ワクチンはお済ですか？

第1期 生後12ヶ月～24ヶ月未満（0歳児クラス～1歳児クラス）

第2期 **5歳以上7歳未満で小学校就学前（年長クラス）**

小学校入学前には必ず接種を！！



この時期に接種出来ないと、定期接種の対象にもならず費用も自己負担となってしまいます。母子手帳で接種の確認をしましょう。コロナ渦で受診を躊躇してしまいがちですが、予防接種は出来るだけ時期をずらさずに実施していきましょう。

年末・年始の救急受診体制の確認

年末年始はかかりつけの病院がお休みになることがあります。お子さんの急な病気や怪我に備えて、代わりに受診できる病院を控えておきましょう。『#8000』

急な病気や怪我をした際に、救急車を呼んだ方がいいのか、病院に行った方がいいのかなど迷った際のご相談は「東京消防庁救急相談センター」で対応しています。『#7119』

11月の報告

11月の感染症は水疱瘡が2名、感染性胃腸炎が3名、突発性発疹が1名報告がありました。

11月に入り、嘔吐、下痢の症状でお休みする子どもが増えています。登園前に体調がいつもと違うなどの場合は、登園はせず自宅で様子を見てください。